

| | | | |
|--|---|-------------------|--------------------------|
| 令和3年度 | | | |
| 講習の区分 | <選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域 | 講習 時間数 | 6 時間 |
| 講習の名称 | 【選択】造形教育の現在と心理学による保育 | 講習形態 | 講義・実技 |
| 開設者 | 長崎短期大学 | 定員 | 40名 |
| 開設日/時間 | 令和3年08月18日(水) / 08:55~16:30 | 会場 | 長崎短期大学(佐世保市) 第1合同講義室他 |
| 履修認定対象職種 | 教諭 | 主な受講対象者 | 幼稚園教諭 |
| 担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員： 藤野正和 (保育学科) / Eメールアドレス: gakuseisien@njc.ac.jp (学生支援課) / TEL: 0956-47-5566 | | | |
| 担当教員(分担担当者等) 陣内敦(保育学科) | | | |
| 講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい: 現代の子どもを取巻く様々な実情や環境を鑑みながら、幼児教育の根源的理論ならびに進歩的指導方法を学ぶことにより、現在の幼稚園教諭に求められる学習指導法の刷新と教育力の向上を図る。 講習方法: 講義形式に加え、ディスカッションや実技等の演習を交えながら、受講者参加型の講習を行なう。 講習到達目標: 表現(造形)領域と心理学による子どもの理解の学問的背景と社会的背景が認識できる。 表現(造形)領域と心理学による子どもの理解が幼稚園教育要領との関連において説明できる。 幼児教育の現場において子どもの姿を想定しながら子どもの心を育てる指導計画ができる。 子どもを理解する観点と、子どもと表現を享受する感性を持つことができる。 | | | |
| 講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要) : 【造形教育の現在】 ①求められる造形教育の考え方 ②造形教育の新材料と活用例 ③造形活動の幼小連携 身体性を培う造形体験 【心理学による保育】 ①自己理解を深める ②発達心理学でみる子どもの世界 ③保護者への対応に活かすエクササイズ 講習計画・内容: | | | |
| | 内容等 | 時間 | 担当教員 |
| | オリエンテーション | 08:55~09:00 | |
| | 講義1【造形教育の現在】(休憩時間20分含む) | 09:00~12:00(180分) | 陣内 敦 |
| | 筆記試験 | 12:00~12:20(20分) | 陣内 敦 |
| | 昼休憩 | 12:20~13:10(50分) | |
| | 講義2【心理学による保育】(休憩時間20分含む) | 13:10~16:10(180分) | 藤野 正和 |
| | 筆記試験 | 16:10~16:30(20分) | 藤野 正和 |
| キーワード: (造形教育) (心理学) (発達心理学) | | | |
| 成績評価の方法 | 成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取り組み等から総合的に判断します。 | | |
| 成績評価の基準 | 成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。 | | |
| 履修認定の方法 | 成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。 | | |
| 教科書・教材・参考書 | 本学で準備します | | |
| 各自で準備するもの | 筆記用具、昼食、造形において粘土や絵具を扱います。 | | |
| 受講上の注意 | 1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。 | | |